

6月定例会

●会期 6月12日～6月22日(11日間)

栗石東八幡平線道路整備 意見書を全会一致で可決

| | |
|---------|-----|
| 今回は | |
| 報告 | 7件 |
| 市長提出議案 | 17件 |
| 議員提出発議案 | 3件 |
| 請願 | 1件 |



6月定例会初日(6月12日)

議員発議で新規条例を制定

○八幡平市交通事故防止活動推進条例

(趣旨)

この条例は、交通事故を防止するための活動を推進することにより、安全で安心して暮らすことができる市民生活の実現を図ることを目的としています。

条例の主な条項

- 第2条では、交通安全活動を行う団体を支援し、交通事故防止のための広報・啓発活動に努めなければならないという、市の責務を明記しています。
- 第3条では、歩行者は反射材や電灯類を着用して、運転者に自分の存在を知らせるよう促しています。
- 第4条では、運転者は夕暮れ時のライト早め点灯(9月から翌年3月の間は午後4時をめぐりに点灯)および夜間における原則上向きライト走行を励行し、早めに歩行者を発見することを促しています。
- 第6条では、子供や高齢者が外出するときは、反射材などを着用するよう助言するなど、家庭での交通安全に関する努力義務をうたっています。



西根総合支所前での交通安全指導

市の第3セクター 経営状況報告

【報告第1号】 株式会社八幡平温泉開発の経営状況報告について

前年度に実施した会社分割により、給湯事業を主目的とする会社として、実質的に初年度の事業報告になるものです。また、子会社になった、八幡平市産業振興株式会社の決算報告も行われました。

Q 市産業振興(株)の社長が、親会社である(株)八幡平温泉開発の事務所に常駐しているが、市産業振興(株)が赤字決算になっている中、問題ではないか。また、市産業振興(株)の社長の報酬はどこから出しているのか。

A 親会社から子会社に社長として派遣することは、一般的によくあることだ。子会社に全額出資している形態をとっており、親会社が責任を持ち、指導し経営している。市産業振興(株)社長の報酬は、(株)八幡平温泉開発から出ている。

過去と違う過失割合 合になった根拠

【報告第6号】 落雪事故の和解および損害賠償額の決定に係る専決処分報告について

過去の市施設からの落雪事故では、市の過失100%で和解されてきましたが、今回の事故は50%の市の過失となった根拠が議論されたものです。

Q 被害者(教員)は、危険な場所と認識していたから50%の過失というが、事故現場に立ち入り禁止の措置を取るべきだったのでは。

A 事故現場は小学校であり、一番に子どもたちの安全を、図らなければならないので、学校側と協議し、安全対策を指導していきたい。



落雪事故が発生した小学校

9月定例会を傍聴しませんか

リンドウ議会開催

八幡平市議会では、品質、生産量とも日本一を誇るリンドウが最盛期を迎える9月定例会を「リンドウ議会」と称し、市民をはじめ国内・海外に八幡平市を広く宣伝し、地域の経済、観光、まちづくりの発展に寄与することを目的とし、議場にリンドウを飾り、9月定例会を開催することになりました。ぜひ傍聴にお越しください。

リンドウを飾る期間(予定)

9月定例会開会の8月23日(水)

～ 8月29日(火)まで



リンドウ議会開催

質問した事項

- 1 **井上 辰男** 議員…… P 6
 - ・平館館山の公園化整備について
 - ・平館本町変則交差点の改善策について
 - ・八幡平市防災マップについて
 - ・県央ブロックごみ処理施設について
- 2 **米田 定男** 議員…… P 6
 - ・西根病院改革プランについて
- 3 **工藤 隆一** 議員…… P 7
 - ・今後の八幡平温泉郷について
 - ・田頭地区のにぎわい創出について
 - ・広報はちまんたいについて
 - ・次期学習指導要領について
- 4 **畠山 康** 議員…… P 8
 - ・スクールバス利用者の車内学習について
 - ・不要公共施設備品の処理について
 - ・借地にある公共施設の状況について
- 5 **山本 榮** 議員…… P 8
 - ・コミュニティバスの運行について
 - ・田山スキー場へのパークゴルフ場整備について
- 6 **渡辺 義光** 議員…… P 9
 - ・外国人観光客の誘客拡大と交流について
 - ・生涯学習人材バンクの設置について
 - ・新学習指導要領研究指定校について
 - ・文化財保護と昇格指定について
- 7 **遠藤 公雄** 議員…… P 10
 - ・市の斎場について
 - ・寺田コミュニティセンターおよび周辺施設の整備について
 - ・火災後の現場の処理について
- 8 **北口 和男** 議員…… P 10
 - ・環境保全対策について
 - ・市産業振興株式会社 of の運営について
 - ・市発注工事の入札について
- 9 **高橋 悦郎** 議員…… P 11
 - ・国民健康保険事業の広域化について
 - ・大更駅周辺整備事業について

安全で安心な市民生活の実現を図るために、市、歩行者、運転者、関係団体、家庭の責務を定めたものです。

交通事故防止活動推進条例を制定

【発議案第1号】 八幡平市交通事故防止活動推進条例

次の一般選挙から、八幡平市議会議員の定数を22人から20人に改正するものです。

議員定数2人減の20人に改正

【発議案第2号】 八幡平市議会議員定数条例の一部を改正する条例

岩手山周辺の観光振興に寄与するため、現在、中断されている県道栗石東八幡平線の車道による全面開通を要望するものです。

栗石東八幡平線車道での全面開通

【発議案第3号】 県道栗石東八幡平線の道路整備を求める意見書



全面開通を願う松川大橋周辺

応援寄付者の意向に沿う運用のため

【議案第8号】 八幡平市ふるさと応援基金条例

ふるさと納税により、本市を応援するために寄せられた寄付金を、寄付者の意向に沿った事業に要する経費の財源に充てるため、新たに八幡平市ふるさと応援基金を設置するものです。

1億7333万円増額した補正予算

【議案第11号】 平成29年度八幡平市一般会計補正予算(第1号)

歳入、歳出それぞれ1億7333万円を増額し、累計197億9833万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼農と輝の大地基金 1611万円
- ▼結婚新生活支援事業 540万円
- ▼りんどう優良品種緊急新植事業 310万円



6月定例会議案採決

Q 田山地域デマンドバスの試験運行について、7月から12月まで、試験運行を行うが、その理由について伺う。

A 定時定路線のコミュニティバスをいったん休止し、デマンド化という形で試験運行をする。住民のニーズに基づき、どちらの方が、住民の方々が利用しやすい環境になるのか検証する。

Q 新婚新生活支援事業の内容について伺う。

A 新婚世帯の敷金、礼金、家賃、引越し代、または、新築の費用も対象となる。1世帯当たり24万円を上限の支援となる。今年4月1日以降に結婚された方で、夫婦合わせた所得が、340万円未満の方が対象となる。

【議案第17号】 平成29年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

275万6千円増額した補正予算

歳入、歳出それぞれ275万6千円を増額し、累計198億108万6千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼スポーツツーリズム推進事業 200万円

Q この事業について、委託料200万円の内容は何か。

A ラグビートップリーグチーム・パナソニックワイルドナイツの2次合宿に係る宿泊費の一部負担やバス移動の経費などである。

Q ラグビー合宿の誘致などに関して、今後の展開をどのように考えているのか。

A 6月の1次合宿時の市の対応などに対する評価が高かった。これを受け、他チームの合宿の誘導策や、ラグビーワールドカップの事前合宿などにつながることを期待している。

平成29年第2回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

| 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 | |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|------|------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | |
| | 工藤 隆一 | 田村 善男 | 畠山 康 | 井上 辰男 | 立花 安文 | 大森 力男 | 工藤 剛 | 工藤 直道 | 遠藤 公雄 | 小野寺 昭一 | 田村 孝 | 山本 榮 | 高橋 守 | 伊藤 一彦 | 高橋 悦郎 | 関 善次郎 | 大和田 順一 | 高橋 光幸 | 米田 定男 | 北口 和男 | 渡辺 義光 | | |
| 議案第11号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

※賛成=○、反対=● 古川津好議長は採決に加わりません